

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			大指導室に加え2つの小指導室を使用して活動内容や人数に応じて使用しています。また、リミックス等の身体を動かす活動用のスペースも別途確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準を上回る職員を配置し必要に応じて1対1の支援もできるようにしています。支援にあたる全ての職員が保育士又は児童指導員資格を保持しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		支援は基本的に1階スペースを使用しており多機能トイレを設けるなどしてバリアフリー化の配慮をしています
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			日々の支援について毎日の打合せや定期的な会議のなかで検討を行うなどしています。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年、保護者にアンケート調査を実施し、それを踏まえて事業者評価を行いました。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			昨年度の事業者評価はHPに掲載済みです。今回の自己評価についても同様に行います。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	これまで第三者評価を受けたことはありません。今後、外部評価の導入について検討しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			県や市及び関係団体が主催する研修には可能な限り職員を参加させると共に、近隣の事業所とも交流研修を行うなどして資質の向上に努めています。また、事業所内研修を行っています。
適 切	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			相談支援事業所と連携をして個別支援計画を作成しています。また、学校や医療、市町の福祉課等とケース会議へも参加しています。今後も子どもの成長や状況の変化に伴い変化するニーズを的確に把握できるよう工夫していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			様々なケースがあるため一律ではありませんが、個々の特性や障がいに合わせてアセスメントができるようなアセスメントツールを利用しています。
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		○		個別支援計画については、支援プログラムに求められた5領域との関係を含めて具体的な支援内容が明確になるように努めます。
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			個別支援計画をベースに集団の活動を設定しています。併せてより個別の課題にも取り組んでいくよう努めています。

切な支援の提供	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			年間計画、年間目標に基づき、前月会議で予定を具体化し、その後プログラムを支援担当者で立案し共有しています。新年度からは国が示した5領域を踏まえたプログラムを作成するなど、支援の充実を計画しています。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			小集団の活動をとおしてコミュニケーションの機会を増やすとともに、季節を感じられるような工夫をしたり、様々な体験が広がるように工夫をしています。児童発達支援としては繰り返し行う活動も重要と考えていますので、子どもたちの発達課題にあわせたプログラムを提供できるよう努めています。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			さくらキャンプでは小集団の活動を通しての様々な人との交流を中心に療育の内容を考えています。その中でできる個別の療育について支援計画を作成していくよう努めます。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝、打合せを行い、前日までの情報の共有と、当日の支援内容の確認、役割分担を行っています。複数の事業所がありますので、毎日のオンラインミーティングも行っています。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			前項目回答の通りです
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日誌として日々の記録をとるとともに、1か月単位で支援計画の検証等を記録しています。
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリングの標準期間だけでなく、児童の状況の変化や保護者の意向なども踏まえて計画の見直しを行います。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			基本的に、児童発達支援管理責任者と支援担当者の複数で参画します。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			相談支援事業所、他施設、市町の関係機関と連携をとっています。
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		医療的なケアを必要とする児童の利用はありませんが、発作があるなど医療的な配慮が必要な児童については保護者と連絡方法や対応方法を確認しています。
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			現在医療的ケアが必要な子どもの受け入れはありませんが、個々の支援の中で必要な情報は医療機関と連絡体制を整えています。また、支援の内容についての助言を頂く場合があります。
	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			園との情報共有は支援の統一化が図れるように連携をとらせていただいているケースがあります。また、連絡帳を共有にするなどし、日々の様子の共有をしているケースがあります。今後もより連携がとれるように柔軟に対応していきます。
	25	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			年長児に対する教育委員会からの調査に対応しています。また、市担当課とも連携して保育所等とも情報共有等に努めています
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			市が主催する民間事業所連絡会議に毎回出席し手関係機関との連携や支援についての研修に参画しています
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	子どもたちの活動場で交流の機会はありませんが、地域の公園等を利用することで、触れ合う機会があります。

	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			会議が行われるときには児童発達支援管理責任者が参加しています。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳を中心に日々の様子をお伝えしています。今後は実際の支援の様子を見ていただく機会を増やしていきたいと計画をしています。
保護者への説明責任等	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	○			参観や保護者参加のイベント等を開催する中で行っています。
	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			運営規定をより具体的に記載した利用ガイドを作成し、保護者に配付するなどして、わかりやすい説明に努めています。
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			個々支援計画を作成し、同意をいただいています。
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期的な面談以外にも、相談に応じています。ケースによって、面談をさせていただく場合や、電話やLINEワークス利用して行う場合があります。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		支援の参観会や保護者参加の行事を企画するなどして保護者同士の交流や連携を支援しています
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談や面談はいつでも応じることができると周知しています。今後とも相談があった場合はすぐに対応するよう努めます。
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			次月の利用予定確認の際に行事予定や連絡事項を周知するとともに保護者向け通信を発刊しています。また、ホームページにも同様の情報を発信しています。
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人情報保護については、書類管理を徹底してその保持に努めています。
非常時等の対応	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			連絡帳・文書・電話・SNSなど多様な情報伝達方法を活用し、各家庭の事情にも配慮した意思疎通ができるように努めています
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	将来的には、そのようなことが出来たらと考えています。卒業生の参加があります。
	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			マニュアルを策定し、職員研修を行っています。保護者への周知をより深めていきたいと思えます。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			児童と共に月1回の防災訓練や防災知識の取得につとめています。
	42	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			利用開始の時には情報シートを利用し、状況の確認を行っています。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	現在、アレルギーに対して個別に対応が必要なケースがありません。今後、そのようなことがある場合には医師の指示書に対応していきます。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットについて記録し事故防止につとめています。

45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止委員会を設置しています。職員全員で研修を行っています。
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		交通安全や他害を防止するために手を引っ張ることや身体を押さえる可能性が生じる場合には個別支援計画に記載するなどしています。それと同時に身体拘束に陥らない支援の構築に努めています。